

「みかん、やったらええやん」と言い合える町を目指して、新規就農者を増やし産地を守る

- 地域農業の担い手が減少していることから、新規就農者を増やし持続可能な産地を目指し、ポータルサイトやYouTube動画を用いた的確な情報発信を行うことで、就農希望者を呼び込み、町・県・JA・地元農家による新規就農サポート体制を整備し、新規就農者を育成していく。
この取組みにより、就農相談件数及び研修開始人数を大幅に増加させることに成功。



取組前

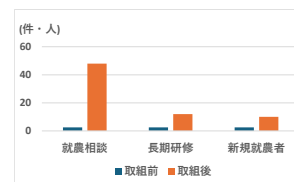
- 地域農業の担い手がピーク時に比べ1/5に減少。
- 若い世代では転出超過となっており、人口減少も進んでいる。
- PR活動（就農フェア等）は年に3回程度行っていたものの、就農相談件数は年平均2～3件、長期研修者・新規就農者数も年平均2～3名となっている。
- このままでは、農地継承ができずみかん産地の将来が危惧される。

取組内容

- 就農希望者を呼び込むためポータルサイトやYouTube動画を制作し発信。認知度向上のため、毎年継続更新している。
- 就農相談体制及び受入体制を強化すべく、ベテラン農家をアドバイザーとして設置。
- 農業体験時の宿泊場所を無償で提供。
- 長期研修者・新規就農者を対象とした「みかん講座」を年20回開催し、技術講習や情報交換の場を提供。
- 町の農地バンク制度や就農サポートリーダーにより、「農地確保」を支援。

取組後(成果)

- 年平均2～3件の就農相談件数が48件と大幅に増加し、長期研修者12名・新規就農者数10名とそれぞれ増加につながった。



- 独立就農時には成木がある園地を確保することができ、就農1年目から一定の収入が見込めている。



【サポート体制】

就農相談

町・県・JA



農業体験

就農サポートリーダー
地元農家・町・JA

長期研修

就農サポートリーダー
町・県・JA

独立就農

就農サポートリーダー
町・県・JA

※《就農サポートリーダー》

県に登録されている農業法人・指導農業士等が地域の中で中心となって新規就農者をサポートする

新規就農者や研修生の声

- 充実した研修制度やサポート体制が整っており、未経験者でもしっかりと学べる環境があるとHPを通じて知りました。
また、すでに移住して農業を始めている先輩たちの姿が動画で確認することができ、より就農のイメージができました。



サポート体制構築事業 活用年度：令和6年度

【問合せ先】 三重県 御浜町役場 農林水産課

TEL：05979-3-0517

E-mail：m-sousui@town.mihama.mie.jp

HP：<https://mihama-mie-townpromotion.jp>